astraJLPT Editorial

問題用紙

(２００９－１２)

２級

文字・語彙

(100点　35分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄(らん)に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で8ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

原本の表紙は未回収です。この表紙の様式・配点・時間は同級の参考資料から推定した編集版です。

問題 I　次の文の下線をつけた言葉は、どのように読みますか、最も適切な読み方を 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　あの塀(へい)は傾いて(1)いるので近づかないほうがいいですよ。危険(2)です。

(1) 傾いて　1 たたいて　2 きずついて　3 きずいて　4 かたむいて

(2) 危険　1 きげん　2 きけん　3 きんけん　4 きっけん

問 2　先日宿泊(1)したホテルは、設備(2)が良く快適(3)だった。

(1) 宿泊　1 しゅくはく　2 しゅっぱく　3 しょっぱく　4 しょくはく

(2) 設備　1 よび　2 せいび　3 じゅんび　4 せつび

(3) 快適　1 けつでき　2 かいでき　3 かいてき　4 けつてき

問 3　この本を読むと、政治(1)全般(2)についての知識(3)が得られる(4)。

(1) 政治　1 せっじ　2 せいじ　3 せっち　4 せいち

(2) 全般　1 ぜんはい　2 ぜんぱん　3 ぜんはん　4 ぜんぱい

(3) 知識　1 ちじ　2 ちせい　3 ちしき　4 ちえ

(4) 得られる　1 えられる　2 かたられる　3 のべられる　4 とられる

問 4　昨日は担当者(1)がいなかったため、改めて(2)明日訪ねることにした。

(1) 担当者　1 たんとうしゃ　2 だんとうしゃ　3 だんどうしゃ　4 たんどうしゃ

(2) 改めて　1 なぐさめて　2 あきらめて　3 あらためて　4 たしかめた

問 5　あの男は、金を盗んだ(1)疑い(2)で調べられているそうだ。

(1) 盗んだ　1 はさんだ　2 つかんだ　3 たたんだ　4 ぬすんだ

(2) 疑い　1 うたがい　2 たたかい　3 うかがい　4 あつかい

問6　田中さんは情報(1)を処理(2)する能力に優れて(3)いる。

(1) 情報　　1　じょうぼう　2　じょうほう　3　じょぼう　4　じょほう

(2) 処理　　1　しょり　2　しゅり　3　しゅうり　4　しょうり

(3) 優れて　　1　あこがれて　2　すぐれて　3　あふれて　4　めぐまれて

問7　突然(1)、火山が噴火し、溶岩(2)が流れ出した。

(1) 突然　　1　とうぜん　2　とつねん　3　とつぜん　4　とうねん

(2) 溶岩　　1　ゆうせき　2　ゆうがん　3　ようせき　4　ようがん

問8　彼女は新しい職場(1)で張り切って(2)働いている。

(1) 職場　　1　しきじょう　2　しきば　3　しょくば　4　しょくじょう

(2) 張り切って　　1　わりきって　2　ふりきって　3　なりきって　4　はりきって

問題 II　次の文の下線をつけた言葉は、どのような漢字を書きますか。その漢字を 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　お申し込みの<u>さい</u>(1)は以下の<u>じょうけん</u>(2)をよくお読みください。

(1) さい　1 際　2 末　3 折　4 内

(2) じょうけん　1 状件　2 条権　3 状権　4 条件

問 2　<u>そつぎょう</u>(1)を前に自分の<u>しょうらい</u>(2)のことを考えた。

(1) そつぎょう　1 業　2 率業　3 卒業　4 倅業

(2) しょうらい　1 将来　2 召来　3 招来　4 奨来

問 3　彼は私の<u>あつかましい</u>(1)願いを引き受けてくれた。

(1) あつかましい　1 熱かましい　2 厚かましい　3 温かましい　4 暖かましい

問 4　日が<u>くれて</u>(1)、<u>あたり</u>(2)は真っ暗になった。

(1) くれて　1 募れて　2 幕れて　3 墓れて　4 暮れて

(2) あたり　1 巡り　2 周り　3 辺り　4 囲り

問 5　<u>ぶっか</u>(1)が上がり、<u>しょうひ</u>(2)に影響が出た。

(1) ぶっか　1 物価　2 物貨　3 物料　4 物値

(2) しょうひ　1 消費　2 省費　3 省資　4 消資

問 6　彼は<u>きよう</u>(1)で何でもできるので、<u>たのもしいそんざい</u>(2)(3)だ。

(1) きよう　1 記用　2 器要　3 記要　4 器用

(2) たのもしい　1 頼もしい　2 希もしい　3 信もしい　4 依もしい

(3) そんざい　1 居在　2 存在　3 在存　4 在居

問 7　野生の動物は(1)かんかくが(2)するどい。

(1) かんかく　1　慣角　2　感覚　3　感角　4　慣覚

(2) するどい　1　鉛い　2　鋭い　3　鈍い　4　鉱い

問 8　(1)どうろを(2)おうだんするときは気をつけよう。

(1) どうろ　1　導路　2　導渡　3　道路　4　道渡

(2) おうだん　1　往段　2　横断　3　横段　4　往断

問 9　この機械は、今までのものより(1)ふくざつな(2)こうぞうになっている。

(1) ふくざつ　1　復雑　2　福雑　3　副雑　4　複雑

(2) こうぞう　1　構像　2　講像　3　講造　4　構造

問 10　今日は私が(1)しかいを(2)つとめさせていただきます。

(1) しかい　1　仕会　2　仕介　3　司会　4　司介

(2) つとめさせて　1　勤めさせて　2　努めさせて　3　務めさせて　4　勉めさせて

問題 Ⅲ　次の文の＿＿＿の部分に入れる最も適切なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　靴(くつ)の ＿＿＿ をしっかり結(むす)んでから、ジョギングを始めた。

1　つな　　2　なわ　　3　いと　　4　ひも

(2)　その車は制限速度(せいげんそくど)を大きく ＿＿＿ して走っていた。

1　超過　　2　過剰　　3　通過　　4　過失

(3)　彼はこの国を作った ＿＿＿ な王(おう)だ。

1　豪華　　2　高級　　3　偉大　　4　上等

(4)　友人がピアノの ＿＿＿ で優勝(ゆうしょう)した。

1　コンサート　　2　コンクール　　3　コンクリート　　4　コンセント

(5)　長い間しゃがんでいたため、足が ＿＿＿ 立てなくなった。

1　やぶれて　　2　しびれて　　3　つぶれて　　4　くずれて

(6)　ここは世界的に有名な観光地(かんこうち)なので、外国人に ＿＿＿ 機会(きかい)が多い。

1　達する　　2　関する　　3　適する　　4　接する

(7)　朝から話し合いを続けているが、なかなか ＿＿＿ が出ない。

1　結局　　2　完成　　3　完了　　4　結論

(8)　A「どちらでも好きな方をあげましょう」

B「どちらもすてきだから、 ＿＿＿ しまって決められません。」

1　まよって　　2　えらんで　　3　たずねて　　4　くらべて

(9)　この新聞は1 ＿＿＿ 120円で売られている。

1　通　　2　冊　　3　部　　4　巻

(10)　＿＿＿ 少しさとうをいれると、もっと美味(おい)しくなりますよ。

1　おおよそ　　2　たった　　3　ほんの　　4　めっきり

問題 Ⅳ　次の(1)から(5)は、言葉の意味や使い方を説明したものです。その説明に最も合う言葉を1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)　その物が本来持っていて、ほかにはない目立つ点。

1　傾向　　2　特色　　3　異常　　4　才能

(2)　怖い目でじっと見る。

1　のぞく　　2　にくむ　　3　にらむ　　4　ねらう

(3)　レストランなどで料理の名前や値段を示した表。

1　ランチ　　2　メニュー　　3　セット　　4　サービス

(4)　ひどく疲れている様子(ようす)。

1　くたくた　　2　いらいら　　3　まごまご　　4　のろのろ

(5)　本当(ほんとう)かどうか信用できない。

1　つらい　　2　くやしい　　3　ずるい　　4　あやしい

問題 V　次の(1)から(5)の言葉の使い方として最も適切なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　乗り越す

1　ぼんやりしていて、駅を1つ乗り越してしまった。

2　急いでいたので、スピードを上げて前の車を乗り越した。

3　終点で降りて、そこから別のバスに乗り越した。

4　空港までの道が込んでいたため、飛行機に乗り越してしまった。

(2)　節約

1　父に「うるさい」と言われたのに、ステレオの音を節約した。

2　「スーパー」というのは、「スーパーマーケット」を節約した言葉です。

3　いつか自分の家が持てるよう、毎月いくらかずつ銀行に節約している。

4　使っていない部屋のエアコンは止めるようにして、電気代を節約しましょう。

(3)　ドライブ

1　雨が降っていたので、駅まで息子をドライブしてやった。

2　家族と海の近くをドライブするのが、休日の楽しみだ。

3　オートバイをドライブするには、特別な免許が必要だ。

4　子供のころ、飛行機をドライブするのが夢だった。

(4)　礼儀

1　彼は言葉遣いも丁寧だし、とても礼儀な人だ。

2　体育館は入学式の会場に使われるので、すっかり礼儀に飾られている。

3　恥ずかしい思いをしないように、きちんとした礼儀を身につけたい。

4　先生と話すときは、もっと礼儀したらどうですか。

(5)　どっと

1　医者が来るまで、動かないでどっとしていなさい。

2　昨日からどっと待っているのだが、まだ返事が来ない。

3　泣いている子供の涙を、母はどっとふいてやった。

4　テストが終わると、たまっていた疲れがどっと出た。

問題 VI　次の(1)から(5)の下線をつけた言葉の意味に最も似ているものを1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)　この道具（どうぐ）にはいろいろな使い道がある。

1　用途　　2　種類　　3　形式　　4　効果

(2)　この地方に台風が来るのはまれなことです。

1　よくある　　2　ほとんどない　　3　時々ある　　4　まったくない

(3)　それは、面白（おもしろ）いアイデアですね。

1　案　　2　型　　3　図　　4　説

(4)　この計画の実現には相互の理解（りかい）が大切だ。

1　われわれ　　2　みなさん　　3　あいて　　4　たがい

(5)　彼らの手紙を読んで、がっかりした。

1　満足　　2　心配　　3　失望　　4　安心

astraJLPT Editorial

問題用紙

(２００９－１２)

２級

読解・文法

(200点　70分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄(らん)に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で18ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

原本の表紙は未回収です。この表紙の様式・配点・時間は同級の参考資料から推定した編集版です。

問題 I　次の文章を読んで、後の問に答えなさい。答えは1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

最近、人間の認知(にんち)、つまり、「人がどのようにものを見、どのようにものを感じるか」についての研究が進んでいて、それについて勉強する機会が増えました。

①そこで知ったことなのですが、人間は起こっているすべてのことを見たり、感じたりするのではなく、そのほんの一部の情報のみを処理するということです。

ちょっと言葉が難しくなりましたが、②時計を見ている人には時計のことはよくわかっていても、同じ部屋の、たとえばテレビの番組には目もやっていなければ、音がしていてもほとんど何を聴いているのかを無視してしまうのです。

③記憶(きおく)についても同じことが言えて、やはり自分の中で気になっていることはよく覚えているし、よく思い出すのですが、そうでないことはほとんど覚えていなかったり、覚えていたとしても思い出すことがほとんどないのです。

④こういうことが起こります。

たとえば、自分が気に入っている人や好きな人については、いい面ばかりが見えるし、やってもらったいいことばかりを思い出すのに、嫌(きら)いな人については悪い面ばかりが見えたり感じられたりする。⑤その人がしたことについては、悪いことばかりを思い出すのです。たとえば⑥意地悪な上司(じょうし)(注1)がいたとしても、意地悪だけをしていたら、仕事にはなりません。

たぶん、通常業務(つうじょうぎょうむ)(注2)の命令や指導もしているはずなのに、そのことは全く目に入らなかったり、記憶に残らないのに、その人のきついことばや、その人にされたことだけを思い出すのです。

つまり、自分のことを不運だ、不幸だと思っている人は、今いる世界の中で、不運なことや嫌なことばかりが目についたり、感じられたりするし、記憶の中の不幸なこと・不運なことばかりが思い出されるのに、幸運だ、幸せだと思っている人は、同じような体験(たいけん)(注3)の中からでも、幸せなこと、幸運なことを感じ取るし、記憶の中でもいいことを思い出すということなのです。

これは、本人の主観(しゅかん)(注4)的な幸福や不幸につながるのですが、それだけではありません。

幸福で幸運だと思う人は、より積極的に行動をしようとするので、実際の幸運や幸福をつかみやすいのに、不運で不幸と思う人は、どうせやっていても無駄(むだ)、うまくいくわけがないと思ってしまって、行動まで消極的になって、現実を打開(だかい)(注5)するチャンスを失ってしまうのです。

（和田秀樹『あなたは、絶対幸運をつかめる！ 心理学』による）

（注1） 上司(じょうし)：職場で立場が上で、指示を与える人

（注2） 通常業務（つうじょうぎょうむ）：普段の仕事

（注3） 体験（たいけん）：自分自身で経験したこと

（注4） 主観的（しゅかんてき）な：自分個人だけの考え方や感じ方による

（注5） 打開（だかい）する：問題を解決して先に進む

問1 ①「そこで知ったこと」とあるが、筆者は何を知ったのか。

1　人間は、勉強する機会が増えると処理する情報も増えること。

2　人間は、起こっているすべてのことを見たり感じたりすること。

3　人間は、すべての情報を利用しているわけではないこと。

4　人間は、一部の情報しか使わないのにすべてを理解していること。

問2 ②「時計を見ている人」の説明として、正しいものはどれか。

1　テレビも時計も目に入っているが、時計からの情報がより正確だと思っている。

2　テレビも時計も見ているが、どちらが正しいかはあまり考えていない。

3　テレビも時計もどちらも気になるが、時計しか見ている余裕がない。

4　テレビも時計も同じ部屋にあるが、テレビからの情報は意識していない。

問3 ③「記憶についても同じことが言えて」とあるが、何と同じなのか。

1　認知　　2　情報　　3　勉強　　4　処理

問4 ④に入る最も適当な言葉はどれか。

1　すると　　2　しかし　　3　それに　　4　または

問5 ⑤「その人」とは、だれのことか。

1　好きな人　　2　嫌な人

3　気に入っている人　　4　ほとんど覚えていない人

問6　⑥「意地悪な上司」の説明として、本文に合っているものはどれか。

1　いつも意地悪しかしないので、仕事にならないことが多く、部下は嫌な思いをしている。

2　部下に意地悪な上司だと言われているので、通常業務の命令や指導を聞いてもらえない。

3　いい人なのだが、きつい言葉で言うことが多いので、部下から意地悪な上司だと思われてしまう。

4　通常業務の命令や指導もしているが、意地悪もするので、そればかりが部下の記憶に残ってしまう。

問7　筆者の考えと合っているものはどれか。

1　自分のことを幸運だ、幸せだと思っていても、悪いことばかり思い出すと、実際より不幸になってしまう。

2　自分のことを幸運だ、幸せだと思っていると、積極的に行動できるので、実際に幸福になれることが多い。

3　自分のことを不運だ、不幸だと思っていると、積極的に行動しても、実際に幸福になれるチャンスは少なくない。

4　自分のことを不運だ、不幸だと思っていても、いいことを思い出すようにすれば、実際に不幸にはならない。

問題 II　次の(1)から(3)の文章を読んで、それぞれの問に対する答えとして最も適当なものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1) 忘れがたい記憶(きおく)として心に残っている親子がいる。勉強が苦手で、運動も苦手。場の空気(注1)もうまく読めない。いじめの対象にならないか心配で私もその子の状態(じょうたい)に注意しながら、指導していた。

ある日、家庭訪問(注2)をした。お母さんと話をしていたところ「私は親というものがどうすべきものか分からない。いつも迷ってばかりで、子供といるのがつらい①」と言う。幼少(ようしょう)(注3)のころ家庭環境に恵まれず、家族や家庭に幸せなイメージを持てないでいるつらさが伝わってきた。

私は衝撃(しょうげき)(注4)を受けた。それまで家族の喜び②を、当たり前のものとして考えていたからだ。だが、そのお母さんの言葉は、家族のいる幸福が決して当たり前でなく、学習や経験をして初めて得られるものだということを示していた。

以後思う。子供に大人になっても幸福な生活を送らせたいなら、まず子供の今を幸せに生かしてやることだ。

ところが、受験戦争の中で睡眠時間を削って勉強し、成功をつかんだ若者は、睡眠時間を削ることを恐れない③。ビジネスマン(注5)となっても、睡眠時間を削って働く。子供のころ家庭だんらん(注6)などに縁のない(注7)まま育ったとすると、親になっても、その必要を感じないことだってあるだろう。

（陰山英男「子供と伸びる」日本経済新聞2008年5月10日付朝刊による）

(注1)　空気が読めない：周りの人の考えや気持ちを感じ取れない

(注2)　家庭訪問：親と話し合うために学校の教師が子供の家を訪問すること

(注3)　幼少(ようしょう)のころ：こどものころ

(注4)　衝撃(しょうげき)を受ける：とても驚く

(注5)　ビジネスマン：ここでは、サラリーマン

(注6)　家庭だんらん：家族が集まり、楽しい時間を過ごすこと

(注7)　縁がない：ここでは、実際に経験したことがない

問 1　この母親が①「こどもといるのがつらい」と感じていたのはなぜか。

1　子供が勉強も運動も苦手で場の空気も読めないから。

2　こどもが学校でいじめの対象になっているから。

3　親としてどうすべきなのかが分からないから。

4　親がこどもに勉強をどう教えたらいいか知らないから。

問 2　②「家族の喜び」とは、どのようなものか。

1　家族のために自分にも何かできることがあるという喜び。

2　家族のメンバーが受験や仕事などで成功して感じる喜び。

3　家族と一緒に楽しく過ごすことによって感じる喜び。

4　家族が学校に幸せなイメージを持っているという喜び。

問 3　③「睡眠時間を削ることを恐れない」とあるが、なぜか。

1　睡眠時間を削ってでも、家族団らんの時間を作ろうとしているから。

2　睡眠時間を削って勉強することによって、それまで成功してきたから。

3　睡眠時間を削らないと、大人になって幸せになれないと信じているから。

4　睡眠時間を削ることが当たり前で、それが家族にとって幸せだから。

問 4　筆者が本文中の親子から学んだことはどんなことか。

1　家族のいる幸福は、どんな家庭においても、普段の生活の中で感じられるものだということ。

2　家族のいる幸福は、受験勉強や仕事を通して、一生懸命努力しないと持てないものだということ。

3　家族のいる幸福は、いじめられたり家庭環境に恵まれないこどもほど、強く感じるものだということ。

4　家族のいる幸福は、当たり前のものではなく、学習や経験をして得られるものだということ。

（2）嫌いだった野菜が食べられるようになったときのことを思い出してください。嫌いな野菜を食べるときにも、大人への段階を意識することがあったのではないでしょうか。

ぼくが子供の頃は卵が貴重品だったのですが、その大好きな卵料理に、大嫌いなニンジンやピーマンが入っているときは正直悲しかった。子供心に「なんてことしてくれるんだ」と思うわけですが、それでも我慢して食べなければならない。半分は大好きな卵ですから、全部嫌いになったわけではない。

そして嫌いなものと好きなものが一緒になっている料理を食べているうちに、なんとなく「大人になったなあ」という気分を味わったものです。ある種の誇らしさ(注1)を覚えたといってもいいでしょう。

こういう経験①から、子供は未来を自覚(注2)していくのかもしれません。

今は何でもあるから、嫌いなものを無理して子供に食べさせることはないだろうと考える人が増えました。卵が好きな子には卵だけ食べさせる。ニンジンやピーマンは大人になれば自然に食べるようになるだろう……というのは大きな間違いで、子供向きのものばかりを与えられてきた彼らには、それを好きになるチャンスがありません。

情報やエンタテイメント(注3)もそう。「子供向き」②というものをわざわざ作って、大人の世界と隔離(注4)してしまうから、大人になってからも、情報に偏り(注5)があることのおかしさに気づかない。③

何でもあるから自由に選べる。自由に選ぼう、という態度でいては、結局のところ、好きなものしか選べない状況を作り出すだけなのです。食べ物が偏食(注6)なら、情報だって偏食。いつまで経っても、自分の好きなものにしか興味を持たない。結果的に世界が広がっていくのを阻害(注7)している。

ぼくは随分前から「情報の偏食時代が始まった」と言い続けてきたのですが、その傾向はますます加速する一方です。

（大林宣彦「なぜ若者は老人に席を譲らなくなったのか」による）

（注1） 誇らしさ：誇りに思う気持ち

（注2） 自覚する：自分で感じ取る

（注3） エンタテイメント：娯楽

（注4） 隔離する：離す

（注5） 偏りがある：バランスが取れていない

（注6） 偏食：好きなものしか食べないこと

（注7） 阻害する：じゃまをする

問 1　①「こういう経験」とは、どのようなものか。

1　嫌いなものが入った料理を食べられたことで、大人になったと感じた経験。

2　好きな卵料理に嫌いな食べ物が入っていて、とても悲しく思った経験。

3　卵が貴重であることを知って、ありがたく思いながら味わって食べた経験。

4　大人になった気分を味わうために、嫌いなものも我慢して食べた経験。

問 2　筆者の述べている②「子供向き」のものとは、どのようなものか。

1　大人への階段を上がるチャンスとなるもの。

2　大人も子供も一緒に興味を持てるもの。

3　子供が好きなものだけ寄せ集めたもの。

4　子供が自分の判断で自由に選んだもの。

問 3　③「気づかない」とあるが、なぜ気づかないのか。

1　大人になるまで大人の世界のことしか知らなかったから。

2　大人になって初めて「子供向き」のものを知ったから。

3　子供の時から嫌いなものも一緒に与えられてきたから。

4　子供のころから好きなものしか与えられなかったから。

問 4　筆者の考えと合っているものはどれか。

1　子供の世界が広がるように、好きなものも嫌いなものも全て一緒に与えるべきだ。

2　子供に広く興味を持たせるためには、「子供向き」とされるものが一番である。

3　子供が好きなものを選べないのは、大人の世界と大きく隔離されているからだ。

4　子供の情報に偏りがあるのは、食べ物に偏りがあることが原因だと考えられる。

（3）何が原因だったか、私は弟とけんかになった。(①) 列車は向き合って座る四人掛け(注1)だったから、進行方向向き(注2)の席の奪い合いだったのだと思う。前に座っていた弟が私の帽子をいきなりつかむと、窓から放り投げた。一瞬何が起きたのか分からなかった。ぼーぜん(注3)と外を見た私の目に、青い空を逃げるように飛んでいく白い帽子が見えた。そのとたん私は火がついたように泣き出した。(②) でも驚いて見上げたときの空の色は今でも忘れられない。青く、明るくどこまでも広がっていた。その中を私の帽子は喜んでいるように飛んでいったのだ。

あの時から、帽子は私の目の中で、空を飛び続けている。どこかに落ちて、さびしく汚れていくなんて考えるのはいやだったから、少しずつ大きく立派になりながら。(③) 今頃はきっと宇宙船になっているだろう……あのときの悲しい気持ちが忘れられなくって、こんなふうにしつっこく(注4)思い続けている。（中略）

青いきれいな空を見るたびに、私はこの白い帽子のことを思い出す。このことがあってから空は私にとって特別なものになってしまった。そこは過ぎた時間と今の時間が重なっているところなのだ。(④) 今見ている景色っていったいなんだろう。昔が入りこむと、今がいっそう今らしく見えてくるから不思議だ。

（角野栄子『ファンタジーが生まれるとき』による）

（注1） 四人掛け：4人用の席

（注2） 進行方向むきの席：進む方に向かって座る席

（注3） ぼーぜんと：何が起こったか、よく分からない様子で。

（注4） しつっこく：普通「しつこく」と書く

問1 ①「私は弟とけんかになった。」とあるが、どんなけんかだったのか。

1 白い帽子を2人ともかぶりたくて、列車の中で取り合いになった。

2 2人が席を取り合って、弟が筆者の帽子を列車の外に放り投げた。

3 好きな席に座れなかった弟が、怒って自分の帽子を外に放り投げた。

4 帽子（ぼうし）の奪（うば）い合いになり、お互いの帽子を列車の窓から放り投げた。

問2　②「泣き出した」とあるが、筆者がなぜ泣いたと考えられるか。

1　帽子はどこかに落ちて、汚れてしまうと思ったから。

2　帽子の白と青い空とが、とても美しいと思ったから。

3　空を高く飛んでいる帽子を見て、すごいと思ったから。

4　窓の外の帽子は、もう戻ってこないと思ったから。

問3　③「少しずつ大きく立派になりながら。」とあるが、何が大きく立派(りっぱ)になっているのか。

1　帽子(ぼうし)　　2　弟　　3　筆者　　4　列車

問4　④「そこは過ぎた時間と今の時間が重なっているところなのだ」とあるが、筆者(ひっしゃ)の気持ちは次のどれか。

1　昔帽子が飛んでいった青い空を見て、筆者は今も弟とけんかをしてしまったことを悲しく思っている。

2　昔列車の窓から飛んでいった帽子が、筆者(ひっしゃ)の心の中では宇宙船(うちゅうせん)となり、筆者は今それをとても喜んでいる。

3　今見上げる青空は、昔列車の窓から飛んでいった帽子を思い出させ、今と昔が結(むす)びついているように思われる。

4　昔白い帽子がなくなったときはとても悲しかったが、今は美しい思い出として受け止められるようになった。

問題 Ⅲ　次の(1)から(5)の文章を読んで、それぞれの問に対する答えとして最も適当なものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1) 現代に生きる私たちが美術館へ行くことの社会的な意味は、自分とは違った人がこの世の中(注1)にはたくさんいて、彼らは自分とは違った世界を見ている……ということを知ることにある。世界は均質(注2)でも均一(注3)でもない。世の中には人の数だけ違った価値観が存在し、一枚の絵を見ても、誰一人として、まったく同じことを感じたりはしないはずなのだ。

(岩淵潤子『美術館で愛を語る』による)

(注1)　この世：この世界
(注2)　均質：同じ性質を持っていること。
(注3)　均一：すべてが等しいこと

【問い】　筆者の考えと合っているものはどれか。

1　人はまったく同じことを感じることはないが、美術館へ行けば同じ絵を好む人と出会える。
2　人はそれぞれに価値観が異なるため、人それぞれに絵を見て感じるものが異なる。
3　人は美術館へ行くことで、普段自分が生きている世界とは違った世界が見られる。
4　人は異なる価値観を持つため、違った世界が見たくなったとき美術館に集まる。

(2)（次の文章は、自然の中に生きるサルについて述べたものである。）

サルにエサを与える人は、野生(注1)動物をペットと勘違いし、食べ物をやることによって楽しい気分になったり、いいことをしたような気持ちになったりする。人とサルは接触(注2)することなく暮らすのが自然な姿だ。(中略) エサをやる人が、サルに「どうしたの」と話しかけたり、連れの人を横に立たせて楽しそうに写真を撮ったりする。それはペットと勘違いしている証拠(注3)だ。

(毎日新聞科学環境部『生きものたちのシグナル』による)

(注1)　野生動物：人間に飼われていない自然のままの動物
(注2)　接触する：ここでは、近づいたり触ったりする
(注3)　証拠：あることが正しいことを明らかにするもの、証明するもの

【問い】　筆者の意見として、最も適当なものはどれか。

1　サルに話しかけるのは、サルとヒトとの自然の姿として理想的だ。

2　ペットと同じようにサルに接するのは、自然な姿ではない。

3　エサをサルにやるのは自然な姿の一つで、見ていて楽しい。

4　エサをサルに与えないのは、野生動物に対する自然な姿ではない。

(3) 旅に出る時はいつも、少し気が重いのです。面白くて刺激的な出来事が旅先で待っているであろうことは理解しているけれど、何ら(注1)不便を感じることのない日常世界から少しのあいだ離れなくてはならないのが、不安でありおっくう(注2)であり。

一方で旅は、日常生活から逃げるという行為(注3)でもあります。面倒臭い諸問題や憂鬱(注4)な気分から一時的に足抜け(注5)するために、人は旅に出るのでもありましょう。

ぬるま湯から出るときのような「このままでいたいのに」という気分が、半分。できるだけ早く遠くまで逃げたい気分も、半分。<u>そんな気分</u>で私は、出発の日を迎えました。

(酒井順子「韓流鉄道ぐるり旅」『旅』2004年8月号による)

(注1)　何ら：少しも

(注2)　おっくうだ：面倒で気が進まない

(注3)　行為：行うこと

(注4)　憂鬱な：気持ちが沈んで暗い

(注5)　足抜け：逃げること

【問い】　「<u>そんな気分</u>」とはどんな気分のことか。

1　日常生活から離れたくない一方で、その中の面倒なことから逃げたい気分。

2　普段の生活の中にはない刺激的な出来事を、旅で見つけてみたい気分。

3　日常生活を不安に思いながらも、旅に出るのはおっくうだという気分。

4　普段の生活では楽しめないことを、旅の間は大切にしようという気分。

（4）昔から金庫は黒いものが多い。会社に置いてある大きな金庫も、映画に出てくる巨大な金庫も黒いものが中心。総務（注1）においてある小さい金庫も深い緑色。これはどうしてだろうか。盗難防止用の金庫は、簡単に壊せない構造になっていて、簡単に持っていかれないように重くできている。しかし、物理的に重くするのには限界がある。そこで心理的に重く感じる色にしておき、簡単に持っていけなさそうな効果を狙っているのだ。白と黒では心理的に2倍近く重さの差を感じる。色を黒くするだけで、金庫は盗難防止効果が期待できるのだ。

（ポーポー・ポロダクション「マンガでわかる色のおもしろ心理学　青い車は事故が多い？ 子供に見せるとよい色とは」による）

（注）　総務：会社などで人事管理などをするところ

【問い】　本文の内容と合っているものはどれか。

1　黒い金庫は物理的に壊れにくく見える。

2　黒い金庫は白い金庫の2倍近くある。

3　金庫は黒ければ黒いほど盗まれなくなる。

4　黒い金庫は重そうなので盗まれにくい。

（5）日本の自然科学研究において、基礎研究が弱いと言われることが多い。次のグラフは2006年に行われた自然科学研究費の支出割合の調査の結果を示したものであるが、確かに「総額」を見ると、基礎研究費と応用研究費と開発研究費(注1)の割合は基礎研究費が最も小さく開発研究費が最も大きい。

しかし、「大学等」では、基礎研究費の割合が最も大きく、逆に、開発研究費の割合が最も小さい。したがって、機関によってその割合が異なることが分かる。

一方、「非営利的団体(注2)・公的機関(注3)」と「企業等」は共に「総額」と同じように開発研究費の割合が最も大きい。特に「企業等」は開発研究費が基礎研究費の10倍以上で、その割合の大きさが目立つ。また、「非営利団体・公的機関」は「大学等」の次に、基礎研究費の割合が最も大きいものの、開発研究費の2分の1もない。

このことから、「非営利団体・公的機関」と「企業等」がもっと基礎研究費を増やせば、「総額」の基礎研究費の割合が大きくなることが予測できる。ただ「企業等」は特に利益を上げる

ことが求められているので、すぐには利益を生み出さない基礎研究の費用を大きくするのは難しそうだ。

（注１） 開発：新しいものを考え、実際に使えるようにする。

（注２） 非営利：金儲けを目的としない

（注３） 公的：公共の

【問い】 この文章の内容とグラフが合う組み合わせはどれか。

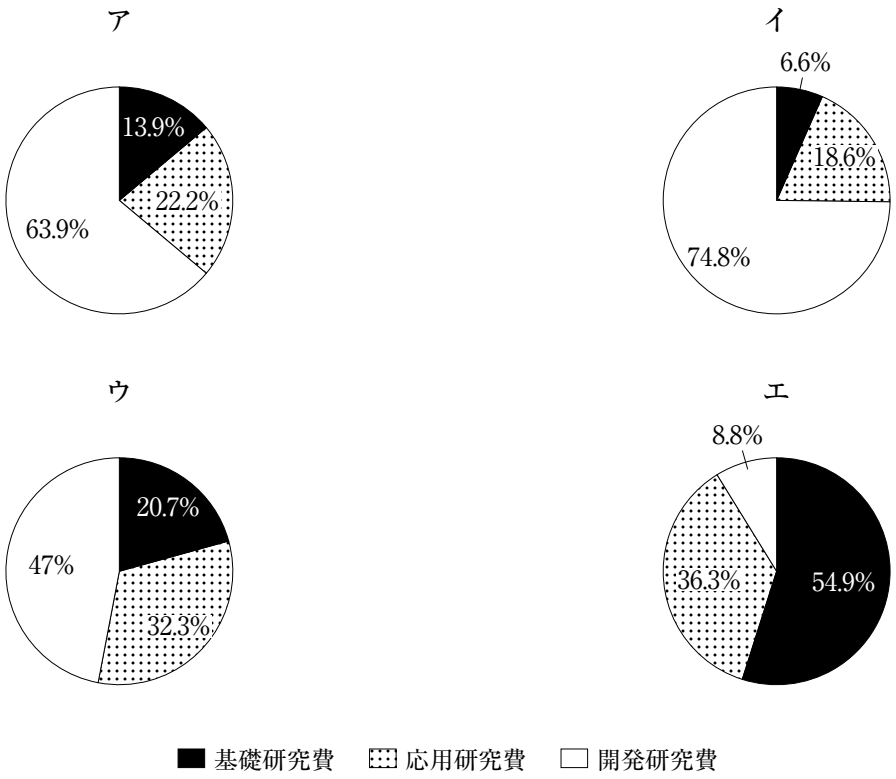
1
ア：企業等　イ：総額
ウ：大学等　エ：非営利団体・公的機関

2
ア：企業等　イ：大学等
ウ：総額　エ：非営利団体・公的機関

3
ア：総額　イ：企業等
ウ：非営利団体・公的機関　エ：大学等

4
ア：総額　イ：非営利団体・公的機関
ウ：企業等　エ：大学等

グラフ



問題 Ⅳ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　皆様の ＿＿＿ 無事に開会式を迎えることができました。

1　せいで　　2　わけで　　3　おかげで　　4　きっかけで

(2)　昨日私が調べた ＿＿＿ 、工場の機械に問題はなかった。

1　限りでは　　2　次第では　　3　上では　　4　ようでは

(3)　テーブルの上に ＿＿＿ ケーキが置いてある。

1　食べぬいた　　2　食べかけた　　3　食べきった　　4　食べ始めの

(4)　彼は何でもよく知っている ＿＿＿ 、友達に「博士（はかせ）」と呼ばれている。

1　ことに　　2　ことから　　3　ことなく　　4　ことだから

(5)　最初は怖くてプールに入ること ＿＿＿ 出来なかったが、今では50メートル泳げるようになった。

1　ばかり　　2　だけ　　3　こそ　　4　さえ

(6)　日本 ＿＿＿ 、私は桜を連想します。

1　にとって　　2　にしては　　3　といえば　　4　とみえて

(7)　これから私が ＿＿＿ パソコンを操作してください。

1　言うとおりに　　2　言いつつも　　3　言って以来　　4　言うなら

(8)　一年間の休暇（きゅうか）が取れた ＿＿＿ 、どんなことがしたいですか。

1　とともに　　2　としても　　3　としたら　　4　というより

(9)　図書館のご利用 ＿＿＿ は、以下の点にご注意ください。

1　にそって　　2　に際して　　3　に基づいて　　4　にしたがって

(10)　出席 ＿＿＿ 欠席 ＿＿＿ 、招待状の返事は早く出したほうがいい。

1　しては／しては　　2　したり／したり

3　するやら／するやら　　4　するにしろ／するにしろ

(11)　その島は、森林の減少 _____ 、鳥や動物の数が減ってきている。

1　にともなって　　2　をたよりに　　3　をめぐり　　4　に対し

(12)　しばらく連絡がない _____ 、そんなに心配することがないよ。

1　と思うと　　2　からには　　3　とならんで　　4　からといって

(13)　妹は、体操の選手 _____ 体がやわらかい。

1　ぎみに　　2　がちに　　3　みたいに　　4　ばかりに

(14)　ひざに痛みがある _____ 、まだ運動をしないでください。

1　うえに　　2　からは　　3　うちは　　4　ところを

(15)　新しい携帯電話（けいたいでんわ）は、写真がとれるだけじゃなくて、テレビ _____ 見られるんだよ。

1　にまで　　2　だって　　3　よりか　　4　のくせに

(16)　この人形は、「こんにちは」「さようなら」 _____ 簡単な言葉を話します。

1　ほどの　　2　ばかりの　　3　にのぼる　　4　といった

(17)　アルバイト料は、昼は一時間 _____ 800円ですが、深夜は1000円です。

1　につけ　　2　につき　　3　にとり　　4　により

(18)　パスポートを申請する _____ いろいろな書類や写真を用意する必要がある。

1　のに　　2　のため　　3　だから　　4　だったら

(19)　あの経営者は、不良品と _____ ながら製品を販売している。

1　知っている　　2　知らない　　3　知ろう　　4　知り

(20)　この問題について _____ 考えるほど、頭の中が混乱してきた。

1　考えれば　　2　考えて　　3　考えた　　4　考え

問題 V　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　このマンガは若い人の間ですごくはやっているので、高校生が ＿＿＿ よ。

1　知っているわけにはいかない　　2　知っているわけではない
3　知らないわけがない　　4　知らないわけだ

(2)　賞(しょう)をもらったのは弟だというのに、彼女の喜ぶ様子は自分が賞をもらった ＿＿＿ 。

1　のも当然だ　　2　かのようだ　　3　というものだ　　4　にちがいない

(3)　書類のミスがあまり多かったので、担当者に文句(もんく)を ＿＿＿ 。

1　言わないのも無理はなかった　　2　言わずにはいられなかった
3　言わないに違いなかった　　4　言わずにすんだ

(4)　こんな難しい曲はひけませんよ。ギターは20年前に習った ＿＿＿ 。

1　きりですから　　2　ほどですから　　3　までですから　　4　ばかりですから

(5)　海外旅行には行きたいけれど、お金がないから、諦(あきら)める ＿＿＿ 。

1　かぎりだ　　2　ことはない　　3　おそれがある　　4　よりしかたがない

(6)　このイベントが成功したのは、周囲の支援とメンバー全員の努力の結果 ＿＿＿ 。

1　になくてはならない　　2　にほかならない
3　にあたらない　　4　にすぎない

(7)　自分がこんなに早く結婚するとは ＿＿＿ 。

1　思ってもいなかった　　2　思ってはいられない
3　思ってばかりいる　　4　思ってよかった

(8)　上手になりたければ、毎日短い時間でもいいから練習を続ける ＿＿＿ 。

1　ものか　　2　ものがある　　3　ことだ　　4　ことになっている

(9)　こちらは山本先生の奥様で ＿＿＿ 。

1　います　　2　おります　　3　いられます　　4　いらっしゃいます

⑽　パーティーはあまり好きではないが、今回は _____ ねばならない。

1　行か　　2　行き　　3　行く　　4　行け

問題 VI　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　勝負は勝てばよい ＿＿＿ 。どんな勝ち方をしたのかが重要である。

1　のであろう　　2　のではないか　　3　ということだ　　4　というものではない

(2)　A「あの映画、すごく人気があって込んでいるみたいだから、早く行こうよ。」

B「そう言っても、 ＿＿＿ 。」

1　映画館には早く行ったほうがいいよ。

2　あの映画はとても評判がいいらしいよ。

3　まだ仕事があるから、すぐには行けないよ。

4　用事が済んだから、映画を見る時間ならあるよ。

(3)　ちゃんと前を見て運転してよ。今、隣の車に ＿＿＿ よ。本当に危なかったんだから。

1　ぶつかるところだった　　2　ぶつかったところだった

3　ぶつかってしまった　　4　ぶつかろうとした

(4)　彼女は若いけれどもとても優秀（ゆうしゅう）です。次の仕事はわが社にとって重要ですので、 ＿＿＿ 。

1　彼女に任せるはずがないでしょう　　2　彼女に任せても仕方ありません

3　彼女に任せてやってください　　4　彼女に任せようがありません

(5)　今年の夏休みは旅行どころではなかった。というのは、 ＿＿＿ からだ。

1　みんなが家でのんびりしていた　　2　父が病気で入院してしまった

3　夏休みに旅行に行けなかった　　4　私が海で泳ぎたくなかった